

第2回岡崎市総合政策指針審議会 会議録

委員

あいち三河農業協同組合 代表理事組合長	天野 吉伸	委員
同志社大学 教授	入江 容子	委員
岡崎信用金庫 理事	氏原 久元	委員
東京大学 教授	小川 光	委員
名古屋都市センター センター長	奥野 信宏	委員
岡崎商工会議所 会頭	大林 市郎	委員
岡崎市医師会 会長	小原 淳	委員
連合愛知三河中地域協議会 副代表	北村 隆一郎	委員
岡崎市総代会連絡協議会 会長	長坂 秀志	委員
岡崎市教育委員	福應 謙一	委員
名古屋大学 教授	福和 信夫	委員
愛知産業大学 学長	堀越 哲美	委員

(事務局)

総合政策部	部長	永田 優
総合政策部企画課	課長	岡田 晃典
総合政策部企画課	副課長	木下 政樹
総合政策部企画課	係長	鈴木 昌幸
総合政策部企画課	主事	藤井 聖士

日時 令和4年2月14日(月)

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面にて実施。

【会長の総括意見】

○コロナ禍において、目標を高水準で達成できていることは評価できる。

○多分野にわたる事業が多くあるため、部署間の連携を密としながら取り組みを進めて欲しい。

○人口増加、出生率増加に向けて取り組みを進めつつも、デジタルやゼロカーボン等の社会や国の動向を見据えながら計画的な事業構築を行って欲しい。

【各委員の主な意見】

- 「重層的支援体制整備」について、生きづらさを抱えている子どもや若者に寄り添った支援としていただくため、センターの開設のみならず、多様な手法（SNS）を用いたサポート体制の構築をして欲しい。

- 子ども・保護者・地域住民が一体となって活動するためのコーディネーターを育てることが必要と考える。

- 核家族化が顕著になっている現状では、育児に悩む若い母親が多いと推察する。母子支援や子育て支援等の複数部局の役割を明確にし、受付を一元化することで連携を強化して欲しい。

- 子育て情報発信について、メールよりも、LINE や Instagram 等の機能を上手く生かした方法を考えて欲しい

- 校内フリースクールを含め、一人ひとりの生徒に合った学習カリキュラムによって個々の持つ特性を伸ばすことは、将来を見据えた教育において重要である。

- 商業・観光分野においては、ウィズコロナにおけるイベントの開催形態を検討して欲しい。

- 「豊かな自然環境と共存・共栄する町」を目標に、農業生産基盤向上（新規経営参入及び経営規模拡大）に向けた取り組みを検討して欲しい。

- 農林水産業の地域活力創造のため、「みどりの食料システム戦略」に基づく新たな取り組みや、スマート農業の推進・加速化へ向けた取り組み、「ユニバーサル農園」等の導入推進等を検討して欲しい

- 西三河における役割、東三河との連携についても戦略があると良い。

- 国が目指す地域生活圏と中核市の役割分担の視点も入れて事業を検討して欲しい

- 岡崎市を住みやすい・利用しやすい街にするため、スピード感を持って取り組みを進めて欲しい。